

令和3年度和歌山県立那賀高等学校  
第1回学校運営協議会 議事概要

1 日 時 令和3年6月25日（金）15:00～17:00

2 会 場 那賀高等学校 応接室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

委員への出席に対するお礼

(3) 学校運営協議会委員自己紹介

各委員からの自己紹介及び学校関係者の紹介

(4) 学校運営協議会 会長（議長）、副会長選出

会長：岸田 正幸 氏      副会長：細田 能成 氏

(5) 協議題

ア 令和3年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針について

【校長から説明】

本校の教育目標は、「自ら学び鍛える那高生」及び「地域に貢献する那高生」を2つの柱として、各教科での学びを示している。本年度は、教育目標を更に具現化していくため、学年主任の協力を得て全教員に投げかけ、より分かり易く可視化したものに取り組んでいる。目標が明確になれば、教員や生徒がより分かり易く、身に付ける力を捉えることができる。



また、学校運営については、少子化問題に係るクラス減・教員減に対応した分掌や部活動の見直しが必要である。

【意見】

- ・ 教育目標を、より分かり易く、構造化していくことは大切なことである。それとともに教育課程も意識されたものにしていく必要がある、それがカリキュラムマネジメントである。総合的な探求などのシラバスが、それに沿っていればなお良い。
- ・ 先生方は、普段の授業を一生懸命にしているが、教育目標に繋がっているかどうかは分からない。できる力が養成されたかどうかは、那賀高校にとって卒業時に2つの教育目標が達成されているかである。
- ・ 本校は、本年度も教育実習をした卒業生が9名あったように、教育系を目指す生徒が多い。昨年度の進路状況は、大阪府への進学が多かったが、信愛大学は、県内で小学校教員免許が取得できるということもあり、昨年度は8名が進学している。

### 【会長】

校長から提案された令和3年度和歌山県立那賀高等学校教育目標、運営方針、学校評価シート等の記載内容について、学校運営協議会全会一致で承認

## イ 令和3年度本校キャリア教育支援授業の実施について

### 【校長から説明】

小学生学習支援ボランティアについて、昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため中止としたが、本年度は、岩出市内の小学校6校を対象にして実施を予定している。

この他、地域への貢献活動として、吹奏楽部は地域での演奏会を、放送部は岩出警察署のフローリアサポーターとして、華道部は岩出署の署内美化のために生け花の飾りつけなどの活動をしている。

国際交流事業・シアトル研修等については、新型コロナウイルス感染症の影響で本年度の開催は中止とした。オーストラリア・クリスチャンカレッジとの交流事業はリモートでの実施を準備している。

体育祭や文化祭、球技大会などの学校行事については、昨年度の実践事例を参考にしながら、できる範囲で実施していきたい。

### 【意見】

- ・ 地域の高校生が教えに来てくれることを小学生は本当に楽しみにしている。とてもありがたい事業である。

### 【会長】

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、今ある事業について考えながら、どれだけ補っていけるかが大切である。

## ウ 令和3年度本校学校運営協議会が主催する事業について

### 【校長から説明】

地域に講師を依頼し、地域の力を借りて2年生で実施しているキャリア教育支援事業の状況について説明。

### 【会長から補足説明】

学校運営協議会は、本来様々な事業などで学校に関わっていくものである。東京都では、年間2,000人から3,000人の支援者が外から学校に入ってきている。そのようななかで、本協議会では2年生のキャリア教育について支援することとなり、平成30年度及び令和元年度と2年間行った。

### 【意見】

- ・ 過去に実施した事業では、生徒も講師もとても喜んでいて、様々な講師の方がいらっしやって興味深い取組であった。少人数で誰もが主体となって話し合いに参加できるのが良かった。

### 【会長】

グループによって話す内容が様々で特徴があって良かった。昨年度は中止となったが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら段取りを始めていく。

### エ その他

#### 【意見】

- ・ 昨年度は、コロナ禍のため殆ど事業に参加できず挨拶運動のみの参加であった。
- ・ ワクチン摂取率などを含めて新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、9月くらいからPTAに関わってもらう機会を増やしてはどうか。学校が、生徒達に対してできるだけ場を提供してくれた形になるようにしてほしい。
- ・ 保護者として、行事をとおして他の子供達を見ることで、自分の子供の教育に繋がる。
- ・ シアトルに行けなかった子供達が残念。思い出を作っておいてあげていただきたい。行事に無駄は無い。学校に協力していきたい。
- ・ 短大でもコロナ禍のルールの下で行っている。様々な工夫をしているが、できることには限界がある。しかし、それでも子供達は工夫して少しでも暮らしを豊かにしていこうとしている。子供達の元気さは決して変わりはない。

### 【会長】

今年の後半に向けて努力していきましょう。次回は、キャリア教育の参観を兼ねて学校運営協議会を行う。



### (6) 閉会

校長謝辞